



REPORT 2023

TOCHIGI GUARANTEE

私たちの明日は
またひとつ、変わる。



栃木県信用保証協会

ごあいさつ



みなさまには、平素より当協会の業務運営につきまして、格別のご高配を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、当協会では国連が提唱する「SDGs(持続可能な開発目標)」の趣旨に賛同し、令和3年12月に栃木県とSDGsの達成に向け「SDGs推進に関する連携協定」を締結いたしました。また、令和4年1月には「SDGs宣言」を行い、併せて栃木県が推進する「とちぎSDGs推進企業登録制度」へ登録いたしました。

同宣言では、信用保証や経営支援等の活動によりSDGsの達成に取り組む県内中小企業を後押しし、持続可能な地域社会の創出に貢献するとしており、宣言上で重点的取組項目として掲げた、地域経済の担い手である創業者への支援や、県内中小企業者への経営課題解決支援については、組織を挙げて積極的に取り組んでいるところであります。

今般、これらの活動を含めた当協会のSDGsへの取組実績等を「TOCHIGI GUARANTEE SDGs REPORT 2023」として取りまとめましたので、ご高覧いただけましたら幸いに存じます。

ご存じのとおり、わが国では中小企業は国内企業の99%を占める等、特に地方においては、地域の雇用と経済・文化を支えるキープレイヤーであり、サステナブルな地域社会構築のためには必要不可欠な存在であります。

わたしたち栃木県信用保証協会は、金融機関をはじめとした関係機関のみなさまと連携しながら、県内中小企業への各種支援に取り組み、地域に根差した公的機関として、地域の持続的な発展に貢献していく所存でございますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

栃木県信用保証協会

会長 茂呂和巳

みんなで取り組もう!SDGs

SDGsとは?

SDGsは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、2015年9月に国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中核をなす国際社会共通の目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人として取り残さない」ことを誓っています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



栃木県信用保証協会SDGs宣言

栃木県信用保証協会は、国連が提唱する「SDGs(持続可能な開発目標)」の趣旨に賛同し、信用保証をはじめとした事業活動を通じて、持続可能な社会の実現に貢献すべく、令和4年1月に「栃木県信用保証協会SDGs」を宣言し、次のような活動を行っています。

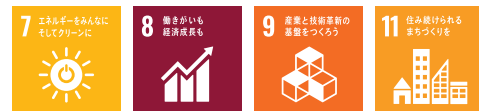
地域経済の活性化

金融支援及び経営支援を通じ、地域経済と雇用を支える中小企業者の成長と繁栄に貢献します。



地域社会の持続的発展

地域社会の課題解決に向け、社会貢献活動に取り組み、地域社会の持続的発展に貢献します。



地球環境・地域環境の保全

環境保全や環境負荷の低減に繋がる活動を積極的に推進し、地球環境・地域環境の保全に取り組みます。



働き方改革・女性活躍の推進

働き方改革や女性活躍に向けた取組を推進し、人材の能力を最大限発揮できる強い組織づくりを実現します。



「とちぎSDGs推進企業登録制度」とは？

栃木県内の企業等におけるSDGs推進の機運を醸成するとともに、SDGs達成に向けた企業の主体的な取組を促進し、企業価値の向上及び競争力の強化を図ることを目的に栃木県が実施している登録制度です。栃木県信用保証協会も令和4年1月に登録しています。



とちぎSDGs推進企業登録マーク

○信用保証を通じた円滑な資金供給

- ・年間12,766件、1,524億円の信用保証を実施
- ・「とちぎSDGs推進企業応援保証」をはじめとするSDGs関連制度により取組を後押し

○創業者を目指す方々への支援

- ・年間406企業に対し、創業保証等を通じて資金調達を支援
- ・令和5年11月「創業アシストセミナー」を開催
- ・関係団体主催の創業塾へ講師として年間13回参加



○中小企業者への経営課題解決支援

- ・年間107企業に専門家派遣等を行い、課題の解決をサポート



○地域イベントへの協賛

- ・地元FMラジオ局RADIO BERRYが主催する野外音楽フェス「ベリテンライブ2023」に協賛し、地域の活性化を応援
- ・ユネスコ無形文化遺産に登録されている那須烏山市の「山あげ祭」や鹿沼市の「鹿沼秋まつり」に協賛・参加



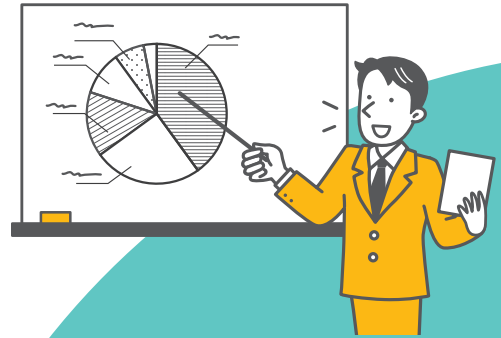
○地元プロスポーツチームとの連携

- ・プロバスケットボールチーム「宇都宮ブレックス」とのスポンサー契約締結及びコラボノベルティグッズの製作



○教育・文化活動への協賛

- ・「下野教育美術展」に協賛し、優秀団体への表彰の他、受賞作品を当協会広報誌「保証だより」の表紙に掲載
- ・県内学生の起業機運の醸成と人材育成を目的とした「とちぎアントレプレナー・コンテスト」に協賛

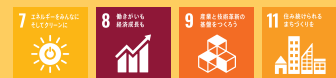


地域経済の活性化



SD 取組

地域社会の 持続的発展





○森づくり事業「ギャランベリーの森」

- ・益子県立自然公園内の「ギャランベリーの森」において、職員による除草活動を実施

○環境問題を意識したノベルティグッズ

- ・「海洋プラスチックボールペン」および「フェアトレードコットンエコバッグ」の活用



○資源の有効活用

- ・「フードバンクうつのみや」への災害時用乾パン寄贈
- ・非常食として購入したパンの缶詰の賞味期限が近付くと回収され、義援物資となって災害地等に届けられる「救急鳥プロジェクト」（株式会社パン・アキモト）に参画



○ペーパーレス会議の実施による紙資源の節約

- ・文書管理システムを活用した電子稟議を導入
- ・年間1,004回のペーパーレス会議を実施し、約14万枚（A4サイズ）の紙資源を削減

○資金運用を通じた社会貢献

- ・グリーンボンド、ソーシャルボンド等のSDGs債を購入
- ・預金を通じて持続可能な社会の実現を後押しする「インパクト預金」への預け入れ



○女性が活躍できる職場づくり

- ・「職場復帰プログラム」により育児休業後の職場復帰をサポート
- ・「とちぎ女性活躍応援団」登録企業として、女性活躍を積極的に推進

とちぎ
女性活躍
応援団
TOCHIGI ACTIVE WOMEN SUPPORTER



○働き方改革への取組

- ・「栃木県いい仕事いい家庭つぎつぎとちぎ宣言」登録企業として、従業員の「仕事と家庭の両立」をサポート
- ・時差出勤制度を導入し、多様な働き方を応援
- ・気候変動や働きやすい職場環境の整備に対応するため、通年での服装の軽装化を実施
- ・育児短時間勤務の対象を拡充



地球環境・ 地域環境の保全



働き方改革・ 女性活躍の推進



Gsの 実績

SDGsに関連した保証制度のご案内

栃木県信用保証協会では、中小企業者のSDGsへの取組を支援すべく、SDGsに関連した保証制度をご用意しております。ご検討の際は、金融機関又は栃木県信用保証協会までご相談ください。

(1) とちぎSDGs推進企業応援保証

栃木県が実施する「とちぎSDGs推進企業登録制度」に登録した中小企業者に対して保証料率を割り引くことで、SDGsの達成に取り組む中小企業者の持続的成長・発展を支援することを目的として創設した保証制度です。



ご利用いただける方



栃木県が実施する「とちぎSDGs推進企業登録制度」に登録し、その目標達成に向けた取組を進めており、今後も社会課題の解決に取り組もうとする方。

保証限度額

1億円(うち運転資金3,000万円)

保証期間

運転資金10年以内
設備資金20年以内
(据置期間36か月以内)

担保

必要に応じて

保証料率

0.405%～1.710%(基準保証料率から**10%割引**)

責任共有制度

対象

対象資金

事業資金

返済方法

分割返済

利率

金融機関所定利率

(2) 寄贈型SDGs特定社債保証「とちぎ地域貢献応援債」

金融機関が取り扱う寄贈型私募債により栃木県内の団体等に寄贈を行う中小企業者に対して保証料率を割り引くことで、地域貢献を後押しする保証制度です。



ご利用いただける方



「中小企業特定社債保証」の適宜基準を満たし、地域貢献のため金融機関が取り扱う寄贈型私募債により栃木県内の団体等に寄贈を行う方。

保証限度額

4億5,000万円
(発行限度額 5億6,000万円)

保証期間

2年以上7年以内

担保

原則として保証金額
2億円超の場合は必要

保証料率

社債総額に対し、0.382%～1.615%
(基準保証料率から**15%割引**)

保証割合

発行額の80%
(部分保証)

対象資金

事業資金

返済方法

満期一括償還、
6か月毎の定時償還

利率

発行体所定利率

SDGs関連ノベルティの製作

中小企業者や関係機関のみなさまに向けて当協会のSDGsに資する取組を発信するとともに、手に取った方がSDGsについて考えるきっかけとなればという思いから、地域貢献や環境保全を意識したノベルティグッズを製作しています。



アルミマウンテンボトル



栃木県のプロスポーツチーム「宇都宮ブレックス」とコラボレーション

栃木県を拠点に活躍し、当協会もスポンサー契約を締結しているプロバスケットボールチーム「宇都宮ブレックス」のご協力のもと製作しました。栃木県をスポーツで盛り上げる「宇都宮ブレックス」と、栃木県内の中小企業を支える当協会を表現したデザインで、スポーツ観戦はもちろん、仕事の休憩やお出かけのお供にもぴったりのサイズです。繰り返し使えるので、缶やペットボトルなど使い捨て容器のごみ削減にもつながります。



※ボトルデザイン

マイボトル活用の効果とは？

ペットボトルの生産・廃棄に係るCO₂排出量はマイボトルの約10倍とされています。1日1本のペットボトルをマイボトルに置き換えると、年間で約44kgのCO₂削減につながります。



海洋プラスチックボールペン



魚の量より多くなると予測される「海洋プラスチックごみ」を使用

ボディの一部に海洋プラスチックごみからリサイクルした再生樹脂を使用しています。SDGsの17の目標のうち、海なし県の栃木県では取り組むことが難しい目標14「海の豊かさを守ろう」について、ノベルティグッズを通じて貢献できるよう製作しました。



海岸に漂着した海洋ごみ。日本に漂着するごみの量は人工物が自然物を上回り、その多くがプラスチックです。

フェアトレードコットンエコバッグ



国際フェアトレード基準を満たしたコットンを使用したエコバッグ

開発途上国の多くのコットン生産者は、生産コストすらまかなえない低価格、危険な農薬の使用による環境・健康へのダメージに苦しんでいます。フェアトレードコットンの普及により、生産環境の向上に寄与することができます。



フェアトレード認証されたコットンを使用。



国際フェアトレード認証ラベル

フェアトレード認証製品であることを示すラベルです。このラベルは製品の原料が生産され、輸出入、加工、製造されるまでの間に、国際フェアトレードラベル機構が定めた基準が守られていることを示しています。

SDGs達成に向けたさらなる取組



若手職員を中心にプロジェクトチームを結成！

循環型社会の実現について職員一人ひとりが意識し、自発的に行動することを目的に、SDGs達成に向けたさらなる取組を検討するプロジェクトチームを結成しました。このプロジェクトでは、これから新たに実行したい取組を職員にアンケートを実施し、取組の実現可能性や期待できる効果についてチーム内で話し合いました。今後も、SDGsへの取組を積極的に進めるとともに、職員の意識醸成に励んでまいります。

職員から集めた意見をもとにチームで検討を重ねました！





栃木県日光市／宿泊業

日光ホテルズ株式会社

日光で創業して47年。
現在は市内に5つのペンション・ホテルを運営し、
国内外から多くのお客様をお迎えしています。

ヒントは「コスト削減」!?

『SDGs宣言』を行うにあたり、「当初はうちには無理だと思った」と話す阿原社長でしたが、新しく何かを始めるのではなく今出来ることを突き詰めてみると、**普段から取り組んでいることが実はSDGsにも繋がっている**ということに気が付きました。例えば、設備投資を行い省エネ設備を整えることで電気や灯油等を無駄なく効率よく使うことが出来たり、清掃のしやすい客室を作ることで人件費や電気使用量を抑えることが出来ます。どちらも日頃から意識している「経費削減」の一部ですが、同時に環境への配慮にも繋がる取組です。「私たちにとって一番大切なお客様に負担をかけず快適に過ごしていただきながら、会社の利益を考えた結果、自然とSDGsに貢献することができていたのです。このように少しずつでも**地球に優しいものに変換していけたら**と思っています。」

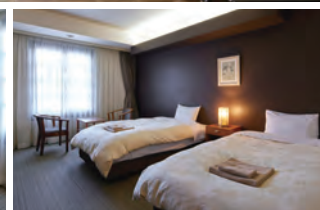
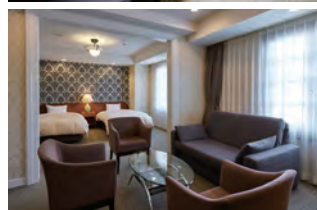


OUR ACTION FOR SDGs

#03

代表取締役社長

阿原 正昭 氏



一人一人が力を発揮して
長く働ける環境づくり

国籍や性別で決って差をつけることはなく、給与や待遇は平等にしています。また近年続く物価上昇への対応として、全社員を対象に基本給をベースアップ。働き甲斐をもって、従業員に安心して働いてもらうことが大切だと考えています。

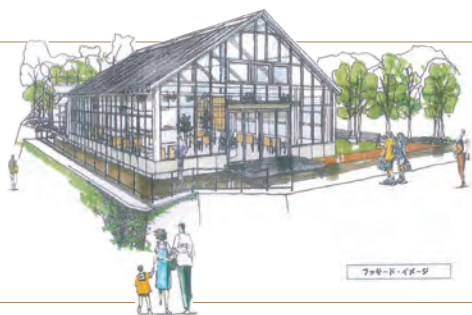


選ぶ楽しさも
宿泊の醍醐味に!



アメニティバーの導入

洗顔料やメイク落とし、ヘアブラシなどのアメニティ類やコーヒー類等は客室に設置することをやめ、必要な物を必要な分だけお客様ご自身でお持ちいただく「アメニティバー」を設置しています。最近広まりつつあるこの取組は、プラスチックごみの削減に直結します。



NEW OPEN!

今春には経営するホテルの敷地内にフードコート型レストランをオープン予定。地元の食材やフードコート内で育てた野菜を提供することで、地産地消に繋がり、SDGs達成への貢献が期待できます。

SDGs達成に向けて取り組むことは、会社の未来にも繋がります。これからもお客様はもちろん、働く従業員の満足度をどう上げていくかを考えながら、SDGsへの取組を進めていきたいと思ひます。



日光ホテルズ株式会社

〒321-1432 栃木県日光市安川町10-9
TEL:0288-53-1000
(受付時間 9:00 ~ 18:00)



代表取締役社長
阿原 正昭 氏

日光生まれ日光育ち。1976年に日光ペンション株式会社を創立以来、47年に渡り数々のペンションやホテルを開業。2024年現在、市内に5館の宿泊施設を経営。今春、新施設をオープンさせる。



back number

過去の記事はこちらからチェックできます!





Special interview

日々の仕事も

世界を動かす第一歩

栃木県塩谷郡高根沢町 / IT事業

株式会社システムソリューションセンターとちぎ

「ICT人材の育成事業」をメインに、「ソリューション事業」・
「インターネット事業」・「テスト事業」を展開。
ITのスペシャリストが集まります。

マッピング作業で“SDGs”が身近に

「まずはこれまで行ってきた事業や社内での取組を、**SDGsが掲げる17の目標にマッピングすることから始めました。**」と小林社長。マッピングとは、ある項目を別の項目に関連付ける作業のこと。自社の事業内容や取組を改めて整理し、SDGsのどの目標に当てはまるかを振り分けていくことで、それぞれの関係性を確認することができる重要な作業です。「ひとつひとつ照らし合わせていくことで、日々の行動が実はSDGsの達成に関わっていたと知り、それまで**難しく考えていた“SDGs”というワードが身近に感じるようになり**ました。」さらに社内にもしっかりと周知することで、SDGsを掲げて事業に取り組んでいるという意識が高まり、「自分たちの事業が、世界が一丸となって目指すゴールに貢献しているという**モチベーション向上**にも繋がっています。」



OUR ACTION FOR SDGs

#04

代表取締役社長

小林 篤史 氏





誰もがITの恩恵を受けられる社会を目指す

創業目的でもある「ICT人材の育成」は、SDGs目標4「質の高い教育をみんなに」に該当します。求職者への職業訓練・遠隔地や通学困難者へのE-ラーニングの実施・企業へのIT研修・学校でのIT教育を通して、ITについて誰もが平等に学ぶ機会を提供。あらゆる世代を対象に質の高い教育を行い、IT社会で活躍できる人材を育てています。

ITを通して地域経済を支える

「ソリューション事業」では自治体や学校・民間企業などを対象に、主にサーバーやネットワーク構築、ECサイトの制作などを行っています。これは目標9「産業と技術革新の基盤を作ろう」に該当し、企業や団体の基盤強化や生産性向上、新たなビジネス機会の創出に繋がります。



私たちがSDGsという共通認識を持ち課題解決に向かうことは、**社会全体のレベルアップに繋がると**思います。興味があるけど何から始めたらいいかわからない…という方は、まずは**日々の社内の取組をマッピング**してみてもいいのではないでしょうか。



株式会社システムソリューションセンターとちぎ

〒329-1233 栃木県塩谷郡高根沢町宝積寺2034-14
TEL:028-680-2000

back number

過去の記事はこちらからチェックできます!



代表取締役社長
小林 篤史 氏

栃木県出身、専修大学法学部卒業後、都内の日立製作所関連企業へシステムエンジニアとして入社。1995年にUターンで(株)システムソリューションセンターとちぎへ転職後、事業部長、取締役を経て、2013年、同社代表取締役社長に就任。





栃木県信用保証協会

発行 令和6年3月
編集 栃木県信用保証協会
住所 〒320-8618 宇都宮市中央3-1-4
電話 028-635-2121
URL <https://www.cgc-tochigi.or.jp/>



この印刷物は適切に育まれた森から生まれたFSC®認証紙を使っています。FSC®認証紙は、適切に管理された森林の木材を原料としており、バランスの取れた「植林→育成→伐採→植林」のサイクルを通じて森林保全を行っています。森林保全を支援することによって地球温暖化の原因であるCO₂削減にも役立ちます。